



グループ通信

発行/ふれディアグループ本部 編集部
〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4
朝霞台駅前ビル8F

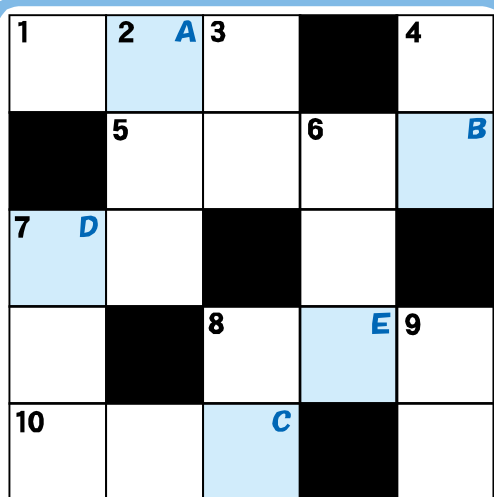
全国相談窓口 ☎ 0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。「3月」が来ると、ちょっとホッとしませんか？ 少しずつ春を感じられる日が増え、寒さで緊張していた体が少しずつ解放されはじめました。体と一緒に心もふっと緩んでいくような心地よさを感じられます。どんどん暖かく過ごしやすくなってくると嬉しいですね。3月は「弥生」ともいわれますが、呼び名の由来は命の芽吹く様子からきているそうです。「弥」には「いよいよ」「ますます」といった意味があり、「生」には「草木が生い茂る」という意味があります。冬の間、寒さで縮こまっていた花や草が一斉に成長する、いよいよ草木が生い茂る、ということから「木草弥や生ひ月」となり、これが短くなって「やよひ」と呼ばれるようになったようです。そのほかにも、3月を表す呼び名には情緒あふれるものがありますのでちょっとご紹介します。旧暦の3月は、現在の3月下旬から5月上旬になりますが、この時期はちょうど桜の咲く季節。そこから「桜月」という別名が生まれています。桜の花には「夢のように儚く咲く美しい花」という意味があるため、「夢見草」という別名もあるそうですよ。そこに由来するのが、夢見草が咲きはじめる「夢見月」というロマンチックな呼び名です。同様に「花見月」も、桜の花が咲いて花見をする月であることから3月の別名となっています。どれもやわらかな響きで、華やかな春を連想させる良い名前ですね。また3月には、桃の節句・ひな祭りがあります。ひな祭りがある月という意味で、「雛月」という異名も。ひな人形、ひなあられ、桃の花を思い浮かべると、一気に春の気分になりますよね。少し変わっているところでは、「竹秋」という呼び名があります。一見、「秋」を思い起こさせるのですが、これは春に竹の葉が黄色く色づくため、竹にとっては秋にあたるということのようです。ちょっと調べただけでも、たくさんの異名があって本当に驚きました。季節や自然を肌で感じ取り、名前に込めてきた日本人の感性は素晴らしいですね。皆さんも春の息吹を感じて、健やかな3月をお過ごしください。

ふれディア通信編集部

脳がイキイキ! 健康クロスワード



解答は別ページにのっています。

花粉など特定の物質が引き金となって生じることといえは？ **A~E**をつなげた言葉が答えです。

タテのカギ

- 二人の息があっていること。○○○の呼吸。
- 「○○は苦の種」と表現されることも…。
- うなぎや焼鳥に本領発揮！ 秘伝の○○。
- 貧血防止に効果的な食材と言えは？
- 世界記録集を生んだ欧州のビール会社は？
- 天文学では、今年は3月20日からです。
- トリュフ探しの手伝いをしてくれる動物です。



ヨコのカギ

- オーストラリアの森に生息する人気者といえは？
- ハワイアン音楽でお馴染み。4弦構成の楽器です。
- グリム童話「星の○○貨」。
- 料理の香り付けに。上手に使えば減塩効果も。
- 資格や免許を取得して○○アップ！

